

## 1010 | インテリアデザイン II

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

牧野良三教授、伊藤真一教授、足立正講師、伊坂重春講師、竹中義明講師、奥村梨枝子講師

## 授業の概要と目標

我々の暮らしを支える都市機能は、我々の求めに応じ様々な工夫がなされ、我々の暮らしを支えている。その重なりが街の個性となり、魅力となっている。

ここでは、人と空間と造形の関係を街の調査を通して明らかにし、その手法を学ぶことを目的としている。集い、憩い、楽しむ、といった都市空間に見られる様々な出来事を、観察を通して読み解き、それらを可能にする工夫がどのようになされているか、空間デザインの考え方をもう一步進めて、提案に至るまでの基本的なプロセスを学ぶ。

## 課題の概要

○通信授業課題 1「身近な空間のデザインサーヴェイ」※面接授業初日に持参すること。

課題図書の中から一点を選び、自分なりの評価をし、その手法に倣い地域の調査を行い、その成果を提出する。

○面接授業課題「デザインサーヴェイから学ぶ」

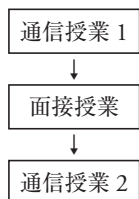
デザインサーヴェイを通して、都市空間の実態とその演出性を客観的に読み取り、その結果をデザイン的に表現する。

○通信授業課題 2「デザインサーヴェイから導かれる空間の設計」

面接授業の成果を踏まえ、地域の特性や人々の活動に配慮した具体的な空間提案を行う。

\*課題については学習指導書『インテリアデザイン I・II 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画



「インテリアデザイン II」は、面接授業を中心に通信授業課題 1（事前課題）→面接授業→通信授業課題 2（事後課題）の順で授業が構成されている為、上記の順序での取り組みが履修の条件となる。

第 1 日 課題説明 通信授業課題 1 の発表、講評 現地調査とワークショップ

第 2 日 現地調査とワークショップ 作品制作

第 3 日 作品制作

第 4 日 作品制作 発表 通信第 2 課題へむけての個人指導

○OLP オンラインプラス [準備] ー面接授業事前説明動画配信

Web キャンパス学生メニューの【動画視聴】にて面接授業の事前説明動画を配信する。

## 成績評価の方法

[通信授業] 評価軸を発想、展開、表現に分け、さらに総合的に評価する。

[面接授業] 上記に加え、制作プロセス（過程）を評価する。成績評価は総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 2 年次

[履修条件] 「インテリアデザイン I」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース指定科目。スペースデザインコース進学希望者は 2 年次に履修すること。スペースデザインコース 3 年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。「インテリアデザイン I」を同時に履修する場合は、「インテリアデザイン I」のスクーリングを先に受講すること。スクーリング時に受講人数を制限する場合がある（スペースデザインコース進学希望者を除く）。

オンラインプラス（Web 上で行う面接授業補助プログラム）を受講する場合は、インターネットに接続できる環境が必要となる。

## 教材等

教科書：寺原芳彦監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

：横溝健志、小石新八編『ドローイング・モデリング』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『インテリアデザイン I・II 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）